

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



プロフィール (Profile)

氏名 (Name) 森國真琴
所属 (School) 現代システム科学域マネジメント学類
学年 (Grade) 2回
留学先 (Name of overseas institution)
イギリス カンタベリー
コンコルドインターナショナル
留学期間 (study abroad period)
2018年 2月10日~2018年 3月5日
記入日 (Date) 2018年 3月22日

留学レポート Study Abroad Report

平日の月曜日から金曜日は毎日朝の9時から16時30分まで授業があり、金曜日は午前中だけ授業がありました。語学学校についてテストを受けてクラスにそれぞれ振り分けられるのですが、午前中の文法のクラスは、日本人がたまたま私1人だけで、その他はアラブ人が5名、トルコ人1名、韓国人1名のグローバルなクラスでした。日本人1人だけのクラスは私のクラスだけで、初めはかなり不安でした。でも先生がとても気にしてくれてなるべく英語の上手い人とペアにしてくれてスムーズに授業を受けることができました。コンコルドの先生の英語は、なるべくわかりやすい単語を使ってゆっくり話してくれるので理解しやすかったです。ネイティブ以外の生徒は英語がかなりなまりが入っていて聞き取りが本当に難しかったです。自分の英語も他の生徒が聞いたら聞き取りにくいと感じるだろうなと思ったのでなるべく発音は聞き取りやすいように心がけましたが、それでも顔をしかめられて理解してもらえない時もあり、発音をもっと上手くなりたいと痛感しました。午後からのクラスは会話の授業で、全員日本人のクラスでした。全員日本人のため安心感はかなりありましたが、日本語禁止のルールがあったので日本語で喋ることは一切なかったです。午後の会話の授業は、グループに分かれてサイコロを降って出た目の内容のことを自分で考えて話したり、初めて聞く洋楽の歌詞を書き出して歌を完成させたりと座学だけではない授業でとても楽しかったです。先生もユーモアの溢れた先生で積極的にグループワークに参加できました。

月曜日から木曜日は朝から夕方まで毎日授業があり、金曜日は午後から休みだったので、金曜日の午後か週末に観光を楽しみました。高速電車で一時間半くらいのところにロンドンがあったのでロンドンには4回行きました。しかしこの高速電車の電車賃が高く往復で安い電車に乗っても往復で3000円はしました。私はもともとミュージカルが大好きでロンドンに行ったら本場のミュージカルを絶対観に行きたいと思っていました。そして週末に、ロンドンのビクトリア駅にあるシアターでミュージカル「wicked」を観ました。正直、英語が早すぎてどんな会話をしているかもよく理解できませんでしたが、歌やダンスは迫力があり、力強く歌っているのを感じ感動しました。他のミュージカルも観たかったのですが時間がなかったので泣く泣く諦めました。

またコンコールドが学校のエクスカージョンとして企画してくれたものにも参加しました。エクスカージョンではバスでグリニッジとケンブリッジに行きました。初めは参加するか迷っていましたが両方参加して本当に良かったです。もし自分たちだけで行こうと思ったら電車も乗り継ぎなど大変で時間もかかると思うので、こういう企画があれば是非参加してください。

イギリス語学研修では初めてのことをたくさん経験しました。ヨーロッパに行くこと、三週間という長期の滞在、語学学校での英語だけの授業、本場のアフターヌーンティーその他にも沢山あります。今まで英語を話すことに抵抗があり、伝わらなかつたら恥ずかしいという気持ちがありました。しかし、今回の留学で英語での会話を自分が話そうという意思を見せれば相手もなんとかして分かってくれようとしてくれるし、こちら側も伝わったら嬉しく達成感もあります。この留学のことをこれからも忘れないようにしてこれからの教訓として挑戦する気持ちを持ち続けたいです。

今回この留学に参加させてくれた家族にも感謝したいですし、大阪府立大学の国際交流のスタッフさん、JTBのスタッフさん、現地スタッフの鶴貝さん、一緒にイギリスに行った府大生がいたから心細くありませんでしたし、たくさん助けてもらい楽しい時間を過ごせました。多くの人に感謝したいです。本当にありがとうございます。

